

介護老人保健施設

太郎

たろう

介護老人保健施設(入所)

ショートステイ(短期入所)・デイケア(通所)



一人ひとりに合わせた 医療とケアとリハビリで  
充実したまい日を提供します。

TEL : 0422-76-6636

FAX : 0422-76-6635

## ごあいさつ

太郎を開設して10年以上が経ちました。利用して下さる方々の状況は本当に様々です。脳血管障害の後遺症でリハビリテーションが必要な方もあれば、ターミナルに近い状況になられた方、認知症が進まれた方もあります。ご家族の状況も一人暮らしの方、ご家族が休息を必要とされている方、老々介護や、認知症の方が認知症の方を見る認知介護のご家庭もあります。太郎を利用される目的やご希望も違っており、そして、おひとりおひとりに個性があります。太郎はこれらの地域のみなさまのニーズによりきめ細かく、より温かく、よりいねいにお応えしたいと思っています。

安心と誇りを持ち続けて生活すること、状態に応じた適切な治療とリハビリテーション、ケアを受けることは高齢者に限らず誰もが願う事であり、この日本では権利として実現させなければならないと考えております。太郎は小さな施設ではありますが、利用者に寄り添いながら、その人生が老後においても希望を見失わず幸福なものであるように、力の限りお手伝いをさせていただき、そういう施設をめざしております。



医療法人社団充会  
理事長 吉岡充

## 太郎の理念

### なによりも利用者(クライアント)の皆様の尊厳を考えます。

認知症などで徘徊したり、療養の妨げとなるような行為をしてしまう利用者さんに対しても、「太郎」では利用者さんをベッドや車椅子に縛る、いわゆる抑制(身体拘束)は一切行いません。

### 個別性を尊重したケアを実施します。

ご利用者ひとりひとりのからだところの状態やご希望、目標を十分に把握し、その方の個性を尊重した、きめこまやかなケアを提供します。

### よりよい療養環境をこころがけます。

安心した療養生活を送っていただけるよう、落ち着いた生活空間と人員の配置を行います。また、利用者の皆様にきちんとした対応ができるよう、スタッフひとりひとりに心と技術のトレーニングをおこないます。

### クオリティ・オブ・ライフ(QOL)を念頭においたケアを実践します。

利用者の皆様やそのご家族ときちんと話しあい、一方的ではない信頼と納得のいただけるケアを提供し、利用者の皆様ひとりひとりに合ったクオリティ・オブ・ライフの向上を考えていきます。

※クオリティ・オブ・ライフは、「生活の質」とも言い換えられます。



## 太郎で、できること。太郎に、できること。 ロングステイ【長期入所】

### 1. 生活力をつける

太郎での生活を通じて退所後にどのような生活スタイルを組み立てられるのか、先々を見通したケアプランに基づき生活の支援を行います。



### 2. からだの機能を上げる

リハビリスタッフを中心に、生活する上で必要な訓練を行います。リハビリを行うことで、できることが増えたり からだの機能をながく維持することができます。



### 3. 笑顔と会話のある暮らし。

施設サービスのメリットは、いつでも誰かと話ができることです。スタッフはいつでも皆さんのそばにいて、笑顔ある生活のお手伝いをさせていただきます。そして他のご利用者さんとのおしゃべりは、生活をより豊かにしてくれます。ご家族のご面会は24時間OKです。



### 4. 次のステップへのお手伝い。

支援相談員を中心に今後の生活について、一緒に考え、お手伝いをして参ります。さまざまな手続きのこと、制度のことについてのご相談も承ります。介護や生活でお困りのことについてお話を伺い、ご相談をお受けいたします。



太郎で、  
過ごす。



## デイケア【通所リハビリテーション】

### 1. からだのリハビリテーション

デイケア利用時間中に、リハビリテーションを行います。理学療法士や作業療法士等のリハビリスタッフによる個別機能訓練やグループエクササイズ(集団体操)を通して、体力や筋力をつけていきます。



### 2. コミュニケーションとレクリエーション

通所サービスの一番のメリットは、多くの方とのコミュニケーションの機会をとれることです。レクリエーションやグループ活動への参加、食事や入浴のサポートを通して、生活の力をアップさせていきます。



### 3. 日々の暮らしにリズムをつくる

1週間のうち決まった日に、デイケアに通っていただき、グループ活動の機会をつくることで日常生活にメリハリが出てきます。ご自宅とは違う楽しみが太郎にはあります。

仲間の皆さんやスタッフとのコミュニケーションで、笑顔も増えてきます。



## ショートステイ【短期入所】

### 1. 生活リズムのたてなおし

ショートステイは、入所フロアと同じ生活スペースでお過ごしいたできます。リハビリテーションや食事、ご入浴、介護サービスも入所と同じようにご提供します。一定期間お泊まりいただくことで、生活リズムのたてなおしもできてきます。

### 2. ご家族もリフレッシュ

ショートステイはご自宅で介護されているご家族にリフレッシュしていただく時間でもあります。そして、ショートステイから戻られたときはお互い笑顔での生活がまたスタートします。

太郎に、  
通う。



太郎に、  
泊まる。



## ご利用までの流れ

### 1. お問い合わせ

いずれのサービス(入所、ショートステイ、デイケア)でも、  
まずはお電話で支援相談員にお問い合わせください。



☎0422-76-6636



### 2. 必要書類のご準備

入所中施設・入院中の病院、かかりつけの病院やクリニック、ケアマネジャーさんなどに診療情報提供書(紹介状)・血液検査データ等サマリー・ADL表(日常生活や介助のご様子の分かるもの)などを作成・提出していただきます。  
お急ぎの際は、FAX等で受け取ることも可能です。



### 3. 面接・見学

ご予約いただいてから、ご来所下さい。支援相談員が対応いたします。  
見学と同時にお困りのことなどをお伺います。  
ご家族のみでいらしても結構です。



### 4. ご利用検討会

医療・看護・介護・リハビリ・栄養・相談など各専門職が集まった会議において、お手伝いが可能かどうか、ご利用について検討させていただきます。



### 5. ご連絡

検討会の結果をご連絡し ご利用の場合は、待機状況、日程調整のご相談をさせていただきます。



### 6. ご契約・ご利用

サービス利用について重要事項説明を行います。その後、各サービスの利用開始となります。

●サービス利用にあたってのご相談は、支援相談員まで  
支援相談員(施設ソーシャルワーカー)がご相談をお受けいたします。

## 施設概要

介護老人保健施設 太郎

短期入所療養介護(ショートステイ) 太郎

通所リハビリテーション(デイケア) 太郎

TEL:0422-76-6636

FAX:0422-76-6635

居宅介護支援事業所(ケアマネジメント) 太郎

TEL:0422-76-6077

FAX:0422-76-6088

三鷹市三鷹駅周辺地域包括支援センター

TEL:0422-76-4500

FAX:0422-76-4505

- 理事長● 吉岡 充（東京大学医学部卒）
- 施設長● 遠藤 麻央（埼玉医科大学医学部卒）
- ◆入所定員◆ 90名(短期入所を含む)  
※居室構成:1人室14室 2人室36室 4人室1室 ※施設は5階建てです。
- ◆通所定員◆ 40名  
※送迎地域・ルート等はお問い合わせください。
- ◆利用基準◆ 入所サービスは要介護1以上の介護認定を受けた方にご利用いただけます。  
通所サービス(デイケア)および短期入所サービスは介護保険において要支援以上の認定を受けた方にご利用いただけます。  
ご利用可能なサービス提供範囲(地域)がございます。

## 交通案内



### ◆電車・バスをご利用の方◆

- ・三鷹駅南口から京王バス「久我山駅行」、小田急バス「羊乳園地行」「野ヶ谷行」「新川園地行」のいずれか「仲町通り」バス停下車正面(道の反対側です)。
- ・京王井の頭線「久我山駅」からは「三鷹駅行」バスにて「南浦」バス停下車正面。
- ・JR京王「吉祥寺駅」からは、「調布駅北口行(吉14系統)」バスにて、「下連雀7丁目」バス停下車徒歩3分。

### ◆車で来られる方◆

- ・五日市街道、井の頭通りからむらさき橋通りへ入り南下、「仲町交差点」を過ぎ約100m先右側。
- ・中央自動車道でお越しの際は調布インターを国道20号(甲州街道)新宿方面に降りて武蔵境通りか三鷹通りを左折、北上し東八道路を右折、むらさき橋通りを左折、「南浦交差点」を過ぎ約100m先左側。

## 連絡先 介護老人保健施設 太郎

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀4-2-8 TEL:0422-76-6636 FAX:0422-76-6635  
Eメール: tarou@mitsurukai.com ホームページURL: <http://www.roukentarou.mitsurukai.com/>

## 関連施設 多摩平の森の病院

回復期リハビリテーション病棟(48床)、認知症患者療養病棟(78床) 認知症患者医療センター、認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム

平成29年7月に八王子市にあった上川病院が移転OPENした病院です。上川病院は、日本で最初に身体拘束廃止に踏み切った病院として知られ、移転後に新たに加わった回復期リハビリテーション病棟を含め現在も一切身体拘束は行っていません。認知症患者医療センターや認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ、短時間型デイケア、訪問リハビリなど多彩なサービスを地域の皆様に提供しています。



〒191-0062 東京都日野市多摩平三丁目1-17 TEL.042-843-1777 FAX.042-843-1701